

事案名	千葉市の事案（千葉県12-6）
分類	発見・被災・掃海等処理 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・『千葉日報』昭和37年8月24日〔1〕 ・『千葉日報』昭和45年6月9日〔2〕 ・『毎日新聞』昭和45年6月9日〔3〕 ・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔4〕 ・「旧軍毒ガス弾等の全国調査結果報告(案)」〔5〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査依頼について(回答)」平成15年10月15日〔6〕
資料内容概要	<p>千葉県千葉市においては、昭和37年にイペリット弾9発が発見され、1発を解体した運転手2名が被災している。昭和45年には、イペリット缶8個が発見され、ガスがもれていた小型4個は現場で処理され、大型4個はコンクリート詰めにして処理された。さらに同年にはイペリット容器が4本発見されている。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和37年8月21日に、千葉市の旧陸軍演習場跡地から住民が掘り出した迫撃砲イペリット弾9発のうち1発を譲り受けた運転手2名が、佐原市で解体して被災した〔1〕。 ・昭和45年6月5日から6月8日にかけて、千葉市（当時）の陸軍防空学校跡地の会社職員宿舎建築現場で基礎工事の掘削中にイペリット缶8個（直径43cm、高さ70cmのもの4個と家庭用消火器大のもの4個）を発見した。同年6月8日午後、自衛隊の調べでイペリットと判明し、缶の腐食によりガスがもれていた小型の4個については現場で処理した。残る大型4個についてはコンクリート詰めにして処理した〔2〕〔3〕。発見されたのはイペリット缶4本とその他で、コンクリート密封して海中投棄したと記載されている〔4〕。 ・昭和45年6月8日から12日にかけて、イペリット容器が4本発見された〔5〕。 ・昭和45年12月4日に、千葉市でイペリットとシアン化合物アンプル100本が発見され、海中投棄（千葉県警）と記載されている〔4〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉市の旧陸軍演習場跡地は農場になっており、過去に不発弾の発見事案がある。農場には灌漑用の井戸が一本あるが、飲料水は県営水道を利用している〔6〕。 ・千葉市（現在地）の陸軍防空学校跡地は、昭和46年5月から会社職員宿舎となっている。地下水の利用はない〔6〕。